

音楽とは 横への感性なり!

ウィーン岐阜合唱団ホームページアドレス
<https://www.wiengifu.org>

2月

2024年2月1日
編集・発行
ウィーン岐阜合唱団

ウィーン岐阜合唱団との出会い

岐阜バリトン 井上 博嗣

ウィーン岐阜合唱団との出会いは、5年前のぞう列車でした。その後、戴冠ミサと、昨年12月のぞう列車再演と続き、この1月から団員として、お仲間へ入れていただけることになりました。

入団の動機は、3つあります。

1つ目は、音楽に向かう熱量の多さと、歌う技能を求める貪欲さを感じたからです。

私は、小学校の教諭をしています。音楽の時間に発声法は触れたことはありません。それは、発声の指導は子どもの音楽性を壊す危険性があると思うからです。「きれいな声で歌いましょう」は禁句だと思っています。きれいな声の定義が曖昧だからです。目をぱちりとか、口を縦に開けてとか、根拠が無い型を押しつける発声指導は、音楽を楽しむ心を奪ってしまうと考えるからです。発声の技能が伴わないと表現できない音楽（歌）に出会い、「もっと上手く歌うためには、どうしたらいいのか知りたい」となったときに、初めて発声指導をすればいいのだと思います。それまでに、経験させたい音楽の素晴らしさは山のようにありますから！

つい熱くなって学校の音楽教育批判を、ダラダラ書いてしまいましたが、貪欲なウィーン岐阜の皆さんに、私が知り得る限りの発声についてお話できたらと思ったからです。

2つ目は、打ち上げの時に歌った男声合唱が、すごく楽しかったからです。

私は、高校で合唱部に所属していました。なぜ合唱部かは、長くなるのでここでは書き

ませんが、ここでの合唱との出会いが、私の人生を変えたのです。当時、部員が120名いて男子も多く、男声合唱曲も歌いました。男声特有の倍音のうねりや、力強い曲調など、忘れかけていた男声合唱の魅力が蘇ってきて合唱魂に火が付いたのです！

3つ目は、平光先生の棒は、下衆な言い方ですが、ストレスが無いので、その音楽性や指揮法を盗みたいと思ったからです。

平光先生は、私の園長役を誉めて下さいます。「ハマリ役」とも言ってくださいました。私は、役を演じるときに、演じる人が見えなようにしたいと考えて、歌ったり演じたりしています。観客は、その人を通し舞台を観ています。つまり、悲劇でも喜劇でも「井上」という人物を通してでしか、その役を観ないということです。また、何を歌っても同じ声、同じ表現になりがちです。私は、その人が見えなように、息の混ぜ方や、アンザツを変えながら歌うようにしています。園長に見えたと言ってもらえたことは、私にとって最高の褒め言葉でした。そして、台詞回しのタイミングも含め、そのように演じさせてくださったのは、平光先生だったのです。また、下衆な言い方ですが、歌っていて楽しかったからです。

平光先生には、私のキャパシティを越えた大役を仰せつかりましたが、皆さんとご一緒に歌えることを一番の楽しみに、レッスンへ通いたいと思います。



2024年清流の国ぎふ文化祭も盛り上げよう

岐阜バリトン 小森 忠良

年末の第九コンサートは、平光先生の情熱あふれるご指導の下、素晴らしいコンサートになりました。私にとっては初めての経験で、多くの団員の皆さんと、連帯感をわかちあうことができました。さらに、コンサート終了後の打ち上げでは、バリトン池田さんにも参加いただき、大いに盛りがりました

令和6年は岐阜県で、「第39回国民文化祭」「第24回全国障害者芸術・文化祭」（「清流の国ぎふ」文化祭2024両大会をあわせた名称）が開催されます。総合プロデューサーの日比野克彦（加納高校卒業、東京芸術大学長）さんが、昨年10月に県民運動のスタート宣言をしました。県内団体では、準備が進み、合唱関係では、1000人の第九コンサートか11月ころに開催され、この春から練習が始まります。

ウィーン岐阜合唱団の皆さんも、1000人の第九の参加を、考えてみませんか、私は、昨年、その前哨戦の300人の第九コンサートに参加しました。ウィーン岐阜合唱団から

の参加は少なかったのですが、今年は、主役は岐阜県です。ぜひご参加ください。

新年は、能登半島地震が発生し、行方不明・死者合わせて、数百人の大惨事になりました。心からお見舞い申し上げます。今後の復旧には長い時間を費やすでしょうが、そんなとき、私は音楽の力が発揮されると思います。悲しいときは、歌を歌うと不思議に元気になるものです。ぜひ、被災地の皆さんが、希望を持てるように、音楽が届けられたらと思います。

今年は辰年です。辰年は、「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍（竜）を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。不幸にして、能登半島地震は海から起こりましたが、日本人社会は、災いを転じて福となすということわざにあるように、大自然との調和、共生の道を歩んでいくものと、信じています。



「ぞうれっしゃがやってきた」演奏会に寄せて

ながら児童合唱団指導指揮 栗木 順子

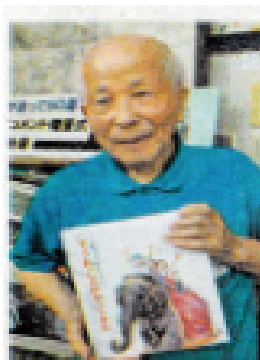
『ぞうれっしゃがやってきた』に参加させていただき、ながら児童合唱団の子どもたちは、本当に良い経験をすることができました。

戦争を知らない私ですが、子供たちに、これからの子たちにも、音楽を通して伝え続けたいです。

そして、新年早々、辛く大変なことが起きましたが、歌うことができる事に感謝して、これからも音楽活動を続けていきたいと思います。

平光先生はじめ、ウィーン岐阜合唱団の皆様、本当にありがとうございました。

平和 運び続けるゾウ列車



絵本「ゾウ列車がやってきた」の絵本を書いた小出さん

「ゾウ列車」は名古屋市中村区の元小学校教諭、小出隆司さん(84歳)が絵本「ぞうれっしゃがやってきた」を書いたことで、広く知られるようになった。

1979年、名古屋市内の小学校の教壇に立っていた小出さんが、担任をしていた1年生に戦争中に東京の上野動物園でゾウが殺された話をすると、児童たちは泣いてしまった

という。

東山動物園で「マカニー」「エルド」の2頭が生き残ったことを話すと、「もっと教えて」とせがまれた。その姿を見て子供たちに喜んでもらおうと、絵本の元となるストーリーを書くことにした。「ゾウ列車」の詳しい情報を知るために北王英一さんの自宅を訪ねたが、最初は「あなたは私の心を引っかき回しにみえたのですか」と言われ、応じてもらえなかった。

それでも毎週のように逢いに行くと、次第に口を開いてくれるようになった。

絵本にしてもいいか尋ねると「あんたは先生だから、子供たちに平和を教える任務だぞ」と言われ、出版のめどが立ったという。現在までに約1万部が発行されるベストセラーとなり、今も売れ続けている。小出さんは「北王さんの思いを、より多くの人と共有できるように願っている」読んだ子供たちが平和を守る人に育ったらと話した。

中日新聞 2023年7月30日より掲載

2月～4月 練習予定

準備が先 声は後

練習開始時間開始 15 分前迄には集まりましょう。

平日 (18:30～20:30)		第一日曜日 AM10:00～12:00 以外日曜日 PM14:00～PM16:00
岐阜 (木曜日) 長森コミュニティセンター	大垣 (金曜日) 大垣市南地区センター	各務原 ウィーン岐阜ホール
2月 1日 長森コミセン	2月 2日 大垣市南地区センター	2月 4日 AM10:00～12:00
2月 8日 長森コミセン	2月 9日 大垣市南地区センター	2月 11日 PM14:00～16:00
2月 15日 長森コミセン	2月 16日 大垣市南地区センター	2月 18日 PM14:00～16:00
2月 22日 長森コミセン	2月 23日 大垣市南地区センター	2月 25日 PM14:00～16:00
2月 29日 長森コミセン	3月 1日 大垣市南地区センター	3月 3日 AM10:00～12:00
3月 7日 長森コミセン	3月 8日 大垣市南地区センター	3月 10日 PM14:30～16:30
3月 14日 長森コミセン	3月 15日 大垣市南地区センター	3月 17日 PM14:30～16:30
3月 21日 長森コミセン	3月 22日 大垣市南地区センター	3月 24日 PM14:30～16:30
3月 28日 長森コミセン	3月 29日 大垣市南地区センター	3月 31日 14時～16:30 長森コミセンで特別講師 を迎えて発声特別練習
4月 4日 長森コミセン	4月 5日 大垣市南地区センター	4月 7日 AM10:00～12:00
4月 11日 長森コミセン	4月 12日 大垣市南地区センター	4月 14日 PM14:30～16:30
4月 18日 長森コミセン	4月 19日 大垣市南地区センター	4月 21日 PM14:30～16:30
4月 25日 長森コミセン	4月 26日 大垣市南地区センター	4月 28日 PM14:30～16:30

音楽家の名言

ソロばかりでやっていると、
テンポの感覚を身につけにくいのです。
感情によってテンポが流れやすいし、
メトロノームというのも、あまり私はいいとは思いません。
でも、他の人と一緒にやれば、
テンポの感覚が自然に身につきます。
コンタルスキー

● アルフォンス・コンタルスキー

ドイツ出身の兄弟デュオ。
コンタルスキー兄弟として活躍
しながら、後進の指導にも当た
っていた

合唱団新聞に関しましては、下記の広報委員までご連絡下さい。

高橋なお子 E-mail:wien.chorus2021@gmail.com
携帯090-9933-0374 FAX058-294-6114
白木 政春 E-mail:printshiraki@yahoo.co.jp
携帯090-9924-6137 FAX058-231-4721